

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科経営管理専攻 に対する追評価結果の付記事項に関する検証結果

I 検証結果

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科経営管理専攻（以下「当該専攻」という。）から提出された改善報告書等を検証した結果、2019年度の追評価結果において適切な教員組織の編制（評価の視点3-4、3-6、3-9）についてさらなる改善が必要と指摘した件については、概ね改善が図られたものと判断した。したがって、次年度以降の改善報告は要請しないこととする。

II 総 評

（1）改善報告書等の提出要請の趣旨

本協会は、2018年度の「ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科経営管理専攻に対する認証評価結果」（以下「評価結果」という。）において、教員・教員組織（項目12・評価の視点3-4、3-6、3-9）に重大な問題を有しており、その状況を総合的に判断した結果、本協会の経営系専門職大学院基準に適合していないと判定した。これに対し、2019年度に当該専攻より追評価の申請があり、追評価の結果、上記の問題事項が概ね改善されたと判断したことから本協会の経営系専門職大学院基準に適合と判定した。しかしながら、上記の問題事項を十全に改善するには更なる取組みが求められることから、対応状況について改善報告書を取りまとめ、改善が認められるまで毎年提出するよう要請した。

（2）2020年度に提出された資料

当該専攻より、本件に係る対応状況に関する報告書として「改善報告書」及び根拠資料（「教員選考規程」「専任教員研究業績一覧」）等が提出された。

（3）本協会による検証内容

本協会は、上記の提出資料に基づき慎重に検証を行った。その結果、大要次のような状況が確認できた。すなわち、「研究業績に関する基準」の見直しを行い、研究業績の水準を「直近3年で論文3本以上かつ学会発表数3以上」に変更するなど審査基準の厳格化を図るとともに、基準を満たす12名の研究者教員を置いている。また、新たな研究者教員の採用を行い、「アカウンティング」「組織行動論」等の基礎科目・理論科目に配置している。また、研究者教員に研究計画書の提出を求めることにより、計画的な研究を促すとともに、当該専攻に着任した後も「研究業績に関する基準」の達成状況を研究支援担当者及び内部質保証室が確認することとしている。

(4) 本協会経営系専門職大学院認証評価委員会の検証結果

本協会は、上記の対応状況について慎重に検証した結果、「研究業績に関する基準」を見直し、これに適う研究者教員（12名）の採用を行っていること、また、「直近3年で論文3本以上かつ学会発表数3以上」という基準への適合状況を定期的に確認する仕組みを構築したことから概ね改善がなされたと判断した。よって、次年度以降の報告は要請しないこととする。

以 上